

基本的な感染症対策の徹底をお願いします

- こまめに手洗い・アルコール消毒をしましょう。
- 基本はマスクの着用を徹底し、3密（①換気の悪い密閉空間 ②多数が集まる密集場所 ③間近で会話や発声をする密接場面）を回避しましょう。また、室内では換気をよくしましょう。
- 集まりは、少人数・短時間にしましょう。
- 大声を出さず会話はできるだけ静かにしましょう。
- 共用施設の清掃・消毒を徹底しましょう。

新型コロナウイルス感染症を疑う症状のある方は

まずは、かかりつけ医に電話で相談を！
夜間・休日やかかりつけ医がない時は、下記に電話で相談してください。

新型コロナ受診相談センター

☎06-7166-9911 Fax06-6944-7579

市民のみなさんには、引き続き、感染リスクの高い行動（下記「5つの場面」参照）を避けるなど、新型コロナウイルス感染拡大防止にご理解ご協力をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



テイクアウト・宅配（配達弁当）対応の飲食店情報ポータルサイト「TAKE OUT いずみさの」をご活用ください！

新型コロナウイルスにより不要不急の外出の自粛を求められている状況を踏まえ、市内で飲食物のテイクアウトや配達などを行っているお店の情報を集約したWEBサイト「TAKE OUT いずみさの」(<https://takeout-dish.com/izumisano/>)を、さのまちゼミ実行委員会が立ち上げています。ぜひご活用ください。

運営 さのまちゼミ実行委員会

後援 泉佐野市、泉佐野商工会議所

問合先 さのまちゼミ実行委員会 (☎・Fax 493-3485 e-mail : muta8686@gmail.com)



QRコード



TAKE OUT いずみさの

地元飲食店を、テイクアウトで美味しく支援！